



放送大学栃木学習センター とちの実

第76号
平成23年1月発行

入試シーズンに思う—選抜入学試験のない放送大学の幸せ—

大学入試シーズンが到来した。巷では、推薦入試、面接入試、0A入試、奨学生選抜入試、そして、大学センター試験、前期日程学力試験、後期日程学力試験、第二次選抜試験など様々な試験による入試が10月から翌年の3月末まで実施される。全国770以上もある日本中の大学が試験、試験、試験。実は大学入試に止まらない。全国5230の高校の殆ど全部も入試【高校入試】を実施する。そして更に、一部の有名私立、幼稚園、小学校、中学校でも入試を実施する。日本中が毎年10月から翌年の3月末まで入試一色。厳粛な学力競争試験で血眼になる。

私は今67才。大学卒業以来40年間以上毎年、高校・大学の入学試験の仕事に関わってきた。入試問題【英語】の作成、試験の監督、採点。志願者を点数化して、合格判定会議で合格・不合格者を決める。しかし、最初から、定年でこのような仕事から離れた今でも、入試＝学力試験の点数化で合否を決める制度には疑問を感じてきた。学力試験の点数が入学の合否を決める制度は正当だろうか。有意義だろうか。止めたらよいのに！

「学力試験」と称する能力試験で志願者を点数化し、序列化し、上位から入学定員数を合格させる。私に関係した英語科目はもちろん、他の科目でも、場合によっては、記述形式の「論文試験」、試験員と対面インタビューの「面接試験」でも、評価を点数化し、科目・種目毎に集計し、合計点で上位から順に合格者を決める。

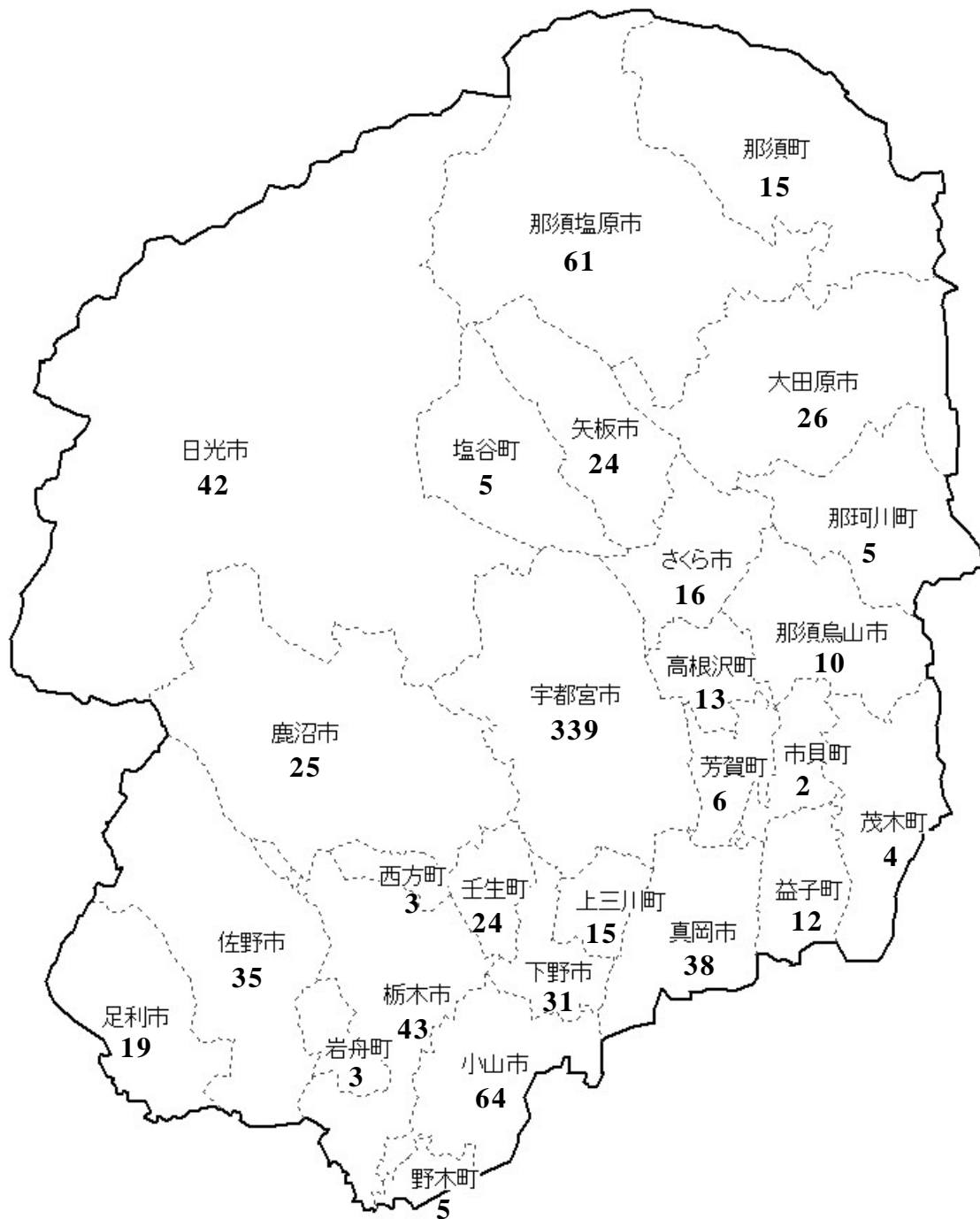
この試験は客観的で、公明正大で、公平で、信頼のおける合格者を決めるよい選抜方法だと言われている。集計の誤りや点数の捏造は絶対がない。評点の集計は複数の試験委員が神経質に検算を繰り返す。とにかく入学試験では、「学力の点数化」が厳格に行われる。なるほど厳格で公平に見える。

だが、その厳格・公平に行われる「学力試験の点数で合否を決定する制度」に私は疑問をもつ。なぜなら、学力試験の点数が高いものが合格して、入学を許され、教育の機会を得る。点数が低いものは不合格となって、教育を受ける機会が拒否される。私にはこれは見当違いだと見えるからだ。入学前の学力は、入学後の教育方法に関係する。学力があるものにはそれなりの方法で、学力がないものには、それなりの方法で教育すれば良い。少なくとも学力試験の点数が低いことだけで入学が拒否されるべきではない。入学前の学力より、大学の教育内容を勉強したいという意欲が高いことの方が遙かに重要だ。そういう人こそが入学は許可され、大学で勉強する機会が与えられるべきである。

幸いにして、放送大学には「入試」はない。一定の資格【高校卒業】があり、勉強意欲があれば誰でも入学できる。これは本当にすばらしい。12世紀に創設されたかの有名な「足利学校」も入試がなかった。戦国時代の多くの有名武将、武田や上杉の戦略のブレーンは、この大学＝学校で戦いの戦術を研究した。16世紀頃には全国から勉強意欲のある3千人もの学生が入学していたと言う。英国のケンブリッジ大学も日本の大学のようないわゆる入試はない。大学が規定する基準を超えた学力証明と研究意欲を確認する面接で入学者を決める。

大学入試が難しいことが「よい大学」の目安ではない。むしろ入学試験がないよい大学は世界に多数ある。放送大学もその1つだ。勉強意欲のあるものに満足できる教育内容を提供する大学。誰でも意欲さえあれば自由に自主的に勉強する機会を提供する大学。学習意欲をかき立てる教育内容を提供する大学。豊富な教育科目を揃えた大学。学生の学力に応じた教育方法をとる大学。豊富な教育施設の整った大学。適切な指導をする教員を豊富に揃えた大学。放送大学はそういう大学だ。そこで学べる我々は幸せである！

平成22年度第2学期 栃木学習センター在学生の概要



平成 22 年度第 2 学期栃木学習センター在学生数

教養学部		大学院		県内外在学生数
全科履修生	587 名	修士全科生	15 名	県内在学生数 885 名
選科履修生	189 名	修士選科生	52 名	
科目履修生	85 名	修士科目生	12 名	
特別聴講生	8 名			県外在学生数 63 名
小計	869 名	小計	79 名	
合計		948 名		

教養学部 年齢区分別男女別人数

年齢区分	男	女	総計	年代割合
10代	7	1	8	0.9%
20代	54	54	108	12.4%
30代	88	118	206	23.7%
40代	64	185	250	28.8%
50代	47	97	144	16.6%
60代以上	108	45	153	17.6%
総計	368	500	869	100.0%

大学院 年齢区分別男女別人数

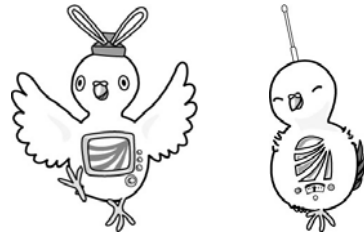
年齢区分	男	女	総計	年代割合
10代	0	0	0	0.0%
20代	1	3	4	5.1%
30代	12	8	20	25.3%
40代	9	5	14	17.7%
50代	14	11	25	31.6%
60代以上	12	4	16	20.3%
総計	48	31	79	100.0%

教養学部 人気科目ベスト10

順位	科目名	人数
1	公衆衛生('09)	63
2	基礎からの英文法('09)	56
3	心理学入門('06)	51
4	問題発見と解決の技法('08)	49
5	こころとからだ('07)	46
5	英語の基本('08)	46
7	人体の構造と機能('05)	45
8	疾病の回復を促進する薬('07)	38
8	食と健康('06)	38
10	在宅看護論('04)	36

大学院 人気科目ベスト5

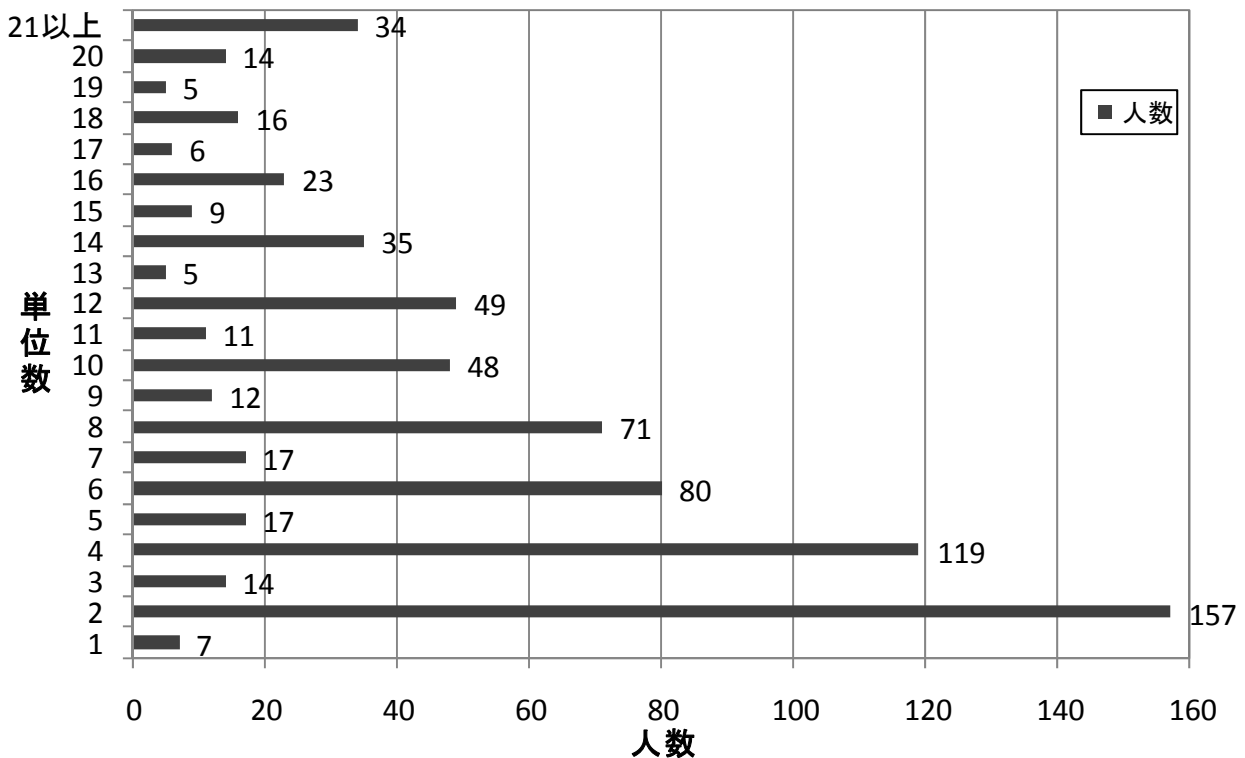
順位	科目名	集計
1	臨床心理学特論('05)	10
2	家族心理学特論('10)	8
2	臨床心理学研究法特論('06)	8
4	才能と教育('10)	7
5	発達心理学特論('07)	6
5	臨床心理面接特論('07)	6



●教養学部 登録単位数別人数グラフ

1人あたりの登録単位数 6.46単位
 最多登録単位数 46単位

今学期科目登録をしなかった学生 200名



事務室からのお知らせ

大学入試センター試験期間の車の入構禁止のお知らせ

下記期間中は車の入構が禁止となりますのでご注意ください。また、期間中は入構の際に学生証の提示が必要となります。忘れずにご持参ください。

車での入構禁止期間 1月15日(土)～1月16日(日)

いよいよ単位認定試験です！

1月下旬より第2学期の単位認定試験が始まります。大学院は1月21日(金)より、教養学部は1月23日(日)よりそれぞれ実施されます。

単位認定試験日程

大学院 1月21日(金)～1月22日(土)
教養学部 1月23日(日)～1月30日(日)
【1月24日(月)と1月28日(金)は閉所日です。】



● 試験期間中のセンター開所時間について

単位認定試験期間中は、センターの開所時間を以下のように延長いたします。また、試験後は通常期間の開所時間に戻りますのでご注意ください。

区 分	センターの開所時間	図書・視聴学習室の利用時間
単位認定試験期間	9:00 ～ 19:00	9:00 ～ 18:45
試験期間中の閉所日	<u>1月24日(月), 1月28日(金)</u>	
通常期間	9:30 ～ 18:00	9:30 ～ 18:00
閉所日	毎週月曜日, 祝日	

● 試験に必要なもの

受験票	試験日の約1週間前までに「単位認定試験通知(受験票)」を送付します。単位認定試験を受験する際には、「 <u>受験票</u> 」と「 <u>学生証</u> 」が必要となりますので <u>忘れずに持参してください。</u> *試験開始の5日前になっても、到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部までお申し出ください。
学生証	まだ学生証を受け取っていない方、有効期限の切れている学生証をお持ちの方は、速やかに学習センターにてお受け取りください。
筆記用具	鉛筆をご使用ください。なお、筆記用具は予備を含めて多めに準備をお願いいたします。ボールペン、サインペンなどは使用できません。

● 持ち込み許可物品について

受験票送付の際に同封されている「単位認定試験受験に際しての注意事項」には、試験の際に印刷教材等の持込が認められる科目の一覧が記載されています。

こちらで受験する科目の持ち込み可否、持ち込み許可物品を確認してください。また、持ち込みが認められる科目の一覧は、センターの掲示板やキャンパスネットワークホームページにも掲載しています。

● 試験会場について

栃木学習センターでは、センター2階の大講義室、実験室および1階の実習室を試験会場として使用します。受験票にも会場名が記載されていますのでご確認ください。

試験は、複数の科目の試験を1つの試験会場で行います。座席は科目別に指定されておりますので、試験会場入り口近くに掲示してある座席表で席を確認の上、着席してください。また、試験の前に受験に際しての説明を行いますので、試験開始10分前には入室してください。



お車で来所予定の皆様へ

教養学部の単位認定試験期間中【1月23日（日）～1月30日（日）】は、駐車場の混雑が予想されます。

学生の皆様には、この期間は可能な限り公共の交通機関をご利用くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

● 試験結果について

60点以上が合格（単位修得）です！

試験結果は、2月下旬に送付される「成績通知書」によって通知します。「成績通知書」と一緒に、それまで取得した履修科目の成績と単位数が記載された「単位修得書」を送付します。また、システム WAKABA から成績を確認することができます。

成績評価

④ 100 ～ 90 点
A 89 ～ 80 点
B 79 ～ 70 点
C 69 ～ 60 点

D 59 ～ 50 点
E 49 ～ 0 点



合格 😊

不合格 😞

● 再試験について

通信指導や試験が不合格となった場合、または試験を受験できなかった場合については、次の学期に限り、科目登録を行わなくても単位認定試験を受験することができます。ただし、学籍が継続していることが条件です。なお、再試験にかかる授業料は不要です。

また、今学期で在学期間が終了する方が次学期に再試験を受験するためには、再入学（出願）の手続きが必要になります。出願期間中に再入学（出願）の手続きを行い、学籍を継続すれば再試験が受験できます。（他に履修希望科目などが無い場合の出願時の学費は、入学料のみとなります。）

平成 23 年度第 1 学期科目登録申請および継続入学手続きについて

学生の皆さんには、次学期の学籍状況によって大学本部より「第 1 学期科目登録申請」または「継続入学募集要項」の各要項が届きます。出願および申請の際には、各要項や「学生生活の栞」を必ず参照し、お間違いのないよう、手続きをおこなってください。

次学期も学籍の続く方 → 平成 23 年度第 1 学期科目登録申請

次学期も引き続き学籍の続く方には大学本部より「平成 23 年度第 1 学期科目登録申請要項」を送付しています。科目登録開始の 8 日前になっても未着の場合は大学本部へお問い合わせください。

対象学生：次学期も学籍のある全科履修生、選科履修生、修士全科生、修士選科生

＜郵送での申請＞

2月8日(火)～3月1日(火)【大学本部必着】

＜インターネット(システム WAKABA)での申請＞

2月8日(火)9:00～3月3日(木)18:00



学生生活の栞
教養学部 P.48～
大学院 P.30～

注意事項

- 学部生は、次学期の面接授業の申請も同時に行うことができます。
- 科目登録申請は、郵送またはインターネットによる申請のどちらかをお選びください。重複申請はできません。
- 全科履修生の方は、2年間(4学期間)科目登録を行わないと除籍となりますのでご注意ください。

※郵送で申請をされる方へ

必ず申請期間内に大学本部へ届くように郵送してください。また、郵送の際は送達記録の残る「簡易書留郵便」または「書留郵便」でお送りください。

今学期で学籍の期限が切れる方 → 継続入学用関連書類

再入学を希望する場合は、学習センター等に置いてある募集要項または大学本部から送付される「継続入学用関連書類」にて入学手続きを行ってください。

対象学生：今学期で学籍の期限が切れる全科履修生、選科履修生、科目履修生、修士選科生、修士科目生

＜郵送での申請＞

受付中～2月28日(月)【大学本部必着】

＜インターネットでの申請＞

受付中～2月28日(月)24:00



学生生活の栞
教養学部 P.79～
大学院 P.56～

注意事項

- 集団入学及び共済組合を利用して入学された方には送付されません。募集要項をお取り寄せください。
- 単位が修得できない場合に備え、再試験のみの出願を希望する場合
出願票の「今回は再試験のためだけの出願である」の欄に○をつけて提出してください。全ての科目が合格となった場合は、出願が無効になります。
- 選科・科目履修生が、初めて全科履修生として出願する場合
「継続入学者用募集要項」では出願できません。新規の「学生募集要項」で出願してください。

今学期に卒業見込みの方

再入学（継続して学習）を希望する方

大学本部から1月上旬に送付される「卒業見込み者あて連絡事項（封書）」を確認のうえ「継続入学用関連書類（再入学）」をご請求ください。1月中旬を過ぎても上記が未着の場合は、大学本部へお問い合わせください。

注意事項

- 今学期で学籍が切れる方と次学期も学籍が続く方とでは、手続きが異なります。詳細につきましては「学生生活の葉」P.79～83でご覧ください。
- 卒業見込みの方は、卒業した専攻（コース）以外の新コースに再入学（3年次学士入学）となり、既に本学で習得した単位が通算されます。

客員教員による特別ゼミ（旧：土曜ゼミ）開催のご案内

栃木学習センターでは、従来土曜日に開催していた土曜ゼミを特別ゼミと名称を変更し、開催日を土曜日に限らず開講することとしました。

今学期は6名の客員教員および鯨井所長が特別ゼミを開講します。特別ゼミは、客員教員およびセンター所長が講師となっていく、少人数のゼミ形式の勉強会です。演習形式の学習を通じて、学問の方法論を身につけることと、学生と教員及び学生同士の交流を深めることを目的とし、毎学期開催しています。

ゼミの内容および申し込みにつきましては、折り込みの「第2学期特別ゼミの開講について」をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています！

平成22年度第2学期特別ゼミ開講一覧（日付順）

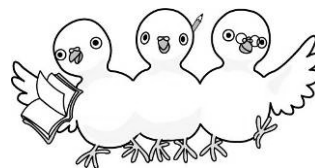
講師名	ゼミタイトル	開講日	開始時刻
柏瀬 省五	英語発音の基礎と英詩朗読演習	2月22日（火） 3月1日（火）	13:00～17:00
日高 定昭	ドラッカーを読む	2月19日（土） 2月26日（土）	13:00～17:00
鈴木 勇二	障害者のための自然災害への対応	2月19日（土） 2月26日（土） 3月5日（土）	13:00～16:00
梅永 雄二	発達障害の人の理解と支援	2月22日（火）	10:00～16:00
加藤 茂夫	デジタル画像処理の基礎と実践	3月5日（土） 3月12日（土）	13:00～17:00
鯨井 佑士	文献調査の方法とレポートの書き方	3月6日（日） 3月13日（日） 3月20日（日）	13:30～17:00
長谷川 まどか	Excelによる実験データのまとめ方	3月20日（日） 3月26日（土）	13:00～17:00

平成23年度第1学期面接授業開講科目一覧

第1学期面接授業の日程は下記一覧のとおりです。授業概要等につきましては、ご自宅に送付されます面接授業時間割表（北関東ブロック版）の冊子をご覧ください。

※教科書指定のある面接授業科目をお申込みされる方へ

授業中に必要な図書（授業当日ご持参いただくもの）は、「教科書」として指定しております。教科書の指定がされている科目については、事前に書店等でご購入くださいますようお願いいたします。



■ ■ 平成23年度第1学期面接授業 ■ ■ 日付順

No.	科目名及び科目区分	定員	開講日程	担当講師名
1	韓国語と韓国文学 (外国語科目)	30	4月16日(土) 1~4限 4月17日(日) 1~4限	丁 貴連 宇都宮大学教授
2	数学の言葉 (自然と環境)	40	4月23日(土) 1~4限 4月34日(日) 1~4限	隈部 正博 放送大学准教授
3	アメリカの伝統と文化 (人間と文化)	33	5月 7日(土) 1~4限 5月 8日(日) 1~4限	米山 正文 宇都宮大学准教授
4	人間の感覚を測る (自然系科目)	40	5月14日(土) 1~4限 5月15日(日) 1~4限	渡邊 信一 宇都宮大学助教
5	教育課程及び方法 (心理と教育)	40	5月14日(土) 1~4限 5月15日(日) 1~4限	丸山 剛史 宇都宮大学准教授
6	経営学入門 (社会系科目)	40	5月21日(土) 1~4限 5月22日(日) 1~4限	日高 定昭 作新学院大学教授
7	環境に配慮した衣服の管理 (生活と福祉)	100	5月28日(土) 1~4限 5月29日(日) 1~4限	清水 裕子 宇都宮大学教授
8	英語学習の基礎 (基礎科目)	100	6月 4日(土) 1~4限 6月 5日(日) 1~4限	柏瀬 省五 宇都宮大学名誉教授
9	考古学概説 (人間と文化)	50	6月11日(土) 1~4限 6月12日(日) 1~4限	小林 青樹 國學院大學栃木短期大學教授
10	動的均衡と複雑系の科学 (自然と環境)	15	6月11日(土) 1~4限 6月12日(日) 1~4限	吉田 勝俊 宇都宮大学准教授
11	発達障害の理解と教育的支援 (心理と教育)	10	6月18日(土) 1~4限 6月19日(日) 1~4限	松本 秀彦 作新学院大学准教授
12	現代社会と福祉 (生活と福祉)	100	6月25日(土) 1~4限 6月26日(日) 1~4限	山田 昇 佐野短期大学教授
13	ペルシア湾岸とアラビア半島 (社会と産業)	100	6月25日(土) 1~4限 6月26日(日) 1~4限	高橋 和夫・放送大学教授 川嶋 淳司・日本国際フォーラム研究員
14	英語で日光を案内しよう (外国語科目)	40	7月 2日(土) 1~4限 7月 3日(日) 1~4限	篠原 勇次 足利工業大学准教授
15	デジタル画像処理入門 (社会と産業)	30	7月 2日(土) 1~4限 7月 3日(日) 1~4限	加藤 茂夫 宇都宮大学教授
16	財政政策と国民生活 (社会と産業)	30	7月 9日(土) 1~4限 7月10日(日) 1~4限	太田 正 作新学院大学教授
17	近代教育思想史 (人文系科目)	100	7月16日(土) 1~4限 7月17日(日) 1~4限	上原 秀一 宇都宮大学准教授
18	日光戦場ヶ原と周辺の植生動態 (自然と環境)	20	7月16日(土) 1~4限 7月17日(日) 1~4限	大久保 達弘 宇都宮大学教授
19	英会話初級 (外国語科目)	30	8月 6日(土) 1~4限 8月 7日(日) 1~4限	David Bradley 足利工業大学等非常勤講師
20	知的障害を伴う人の生きがい (心理と教育)	50	8月 6日(土) 1~4限 8月 7日(日) 1~4限	佐久間 宏 宇都宮大学教授

学習相談日のお知らせ

1月～3月の学習相談日程については、以下の通りです。担当教員の都合により日程が変更になる場合があります。申し込みの前に栃木学習センターへご確認ください。最新の情報はセンター掲示および栃木学習センターのホームページにてお知らせいたします。

日付	教員名	日付	教員名
1月19日(水)	鈴木 勇二	2月23日(水)	鈴木 勇二
1月20日(木)	柏瀬 省五	2月24日(木)	柏瀬 省五
2月5日(土)	加藤 茂夫	2月26日(土)	加藤 謙一
2月9日(水)	鈴木 勇二	3月3日(木)	梅永 雄二
2月10日(木)	柏瀬 省五	3月5日(土)	日高 定昭
2月12日(土)	陣内 雄次	3月9日(水)	鈴木 勇二
	日高 定昭	3月10日(木)	柏瀬 省五
2月17日(木)	梅永 雄二	3月12日(土)	日高 定昭
2月19日(土)	長谷川 まどか		
随時		鯨井 佑士	

栃木学習センター公開講座開催のご案内

平成23年2月20日(日)に栃木学習センターの第3回公開講座を開催いたします。一般の方もご入場いただけますのでご家族ご友人を誘い合わせの上、是非ご来場下さい。

縮退社会におけるまちづくりを考える

—事例からの検証—

我が国は人口減少、超高齢社会、少子化という未曾有の社会的転換点にあり、正に「縮退社会」を迎えつつあります。栃木県は既に人口減少に転じ、また、宇都宮市も近い将来減少に転ずることが予測されています。そのような中、従来のような成長モデルではない、新しいまちづくりの方法論が必要になっています。

本公開講座では、4つの報告を参考に、縮退社会におけるまちづくりのあり方や方向性を考察することを目的とします。

コーディネーター：放送大学客員教授(宇都宮大学教育学部教授) 陣内 雄次 氏
事例報告者兼パネラー：

西本 千尋(株)ジャパンエリアマネジメント代表取締役)

阿久津新平(有限会社睦和建築設計事務所 一級建築士)

加藤 能久(宇都宮市西地区まちづくり推進委員会広報ビジョン部会部会長)

岩井 俊宗(NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房理事)

開催日時：平成23年2月20日(日) 13:30～16:30

場所：放送大学栃木学習センター大講義室

定員：先着100名 一般市民(入場無料)

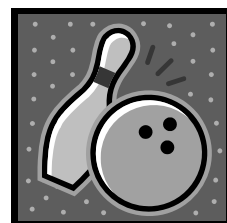
お申込み：お電話またはFAXにて栃木学習センターへお申し込みください!



毎年恒例！学生ボウリング大会を開催します！

毎年恒例のボウリング大会を2月に開催します。試合後は、トーヨーボウル内にある「パンドラの箱 駅東店」にて、茶話会を開催します。単位認定試験も終了し、日々の学習も一段落する学生の皆さんも多いと思います。この機会に栃木学習センターの学生同士、親睦を深めませんか？ぜひご学友をお誘いの上、お気軽にお申込みください。皆様のご参加お待ちしております！

日 程： 2月19日（土）13:30～
場 所：宇都宮トーヨーボウル
募集定員：20名程度
参加費：800円（軽食代・賞品代）
申込方法：事務室窓口またはお電話でお申込みください。
募集締切：2月10日（木）まで



図書・視聴覚学習室より

図書・放送教材の貸出停止期間について

下記の期間は、単位認定試験に伴う図書・放送教材の室外貸出停止期間となります。

大学院生 1月7日（金）～1月22日（土）
学 部 生 1月9日（日）～1月30日（日）

*貸出停止期間中も室内視聴は通常通り行っております。

図書・視聴覚学習室ご利用案内

試験前には図書・視聴覚学習室を利用する方も多いと思います。図書・視聴覚学習室の利用についてご確認ください。

手荷物 ロッカーをご利用下さい。（透明バッグで貴重品・テキスト等持込み可）

放送教材 室内：1回に1本、窓口で手続きをお願いしています。
室外：1週間2本まで貸出しています。（貸出停止期間を除く）

返却期限は必ず守って下さい！

図 書 自由に閲覧できます。貸出期間は31日間、学部生4冊・院生6冊まで。

文献複写 所蔵資料等の文献複写をします。（学生・モノクロは1枚10円）

個人のパソコン 持込みはできません。学生控室でご利用下さい。

図書室のパソコン 自由にご利用下さい。ID（学生番号）とパスワード（生年月日を西暦で入力）を入力後、ご利用頂けます。

携帯電話 使用できません。学習センター施設内での利用はご遠慮下さい。

電子辞書 貸出簿に氏名をご記入下さい。窓口で貸出をいたします。

雑 誌 1週間2冊まで貸出をしています。学生控室の雑誌もご利用頂けます。

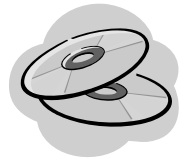
飲 食 図書・視聴覚学習室では飲食不可。学生控室をご利用下さい。

ロッカーの使用について

ロッカーは当日のみのご利用をお願いいたします。

放送教材をご利用の際のお願い

CD・DVDの裏面（データ面）に汚れや傷が付くと、再生に支障が出る場合があります。乱暴な扱いをせず、指紋を付けないようご注意ください。



本部所蔵分の閉講科目放送教材の貸出



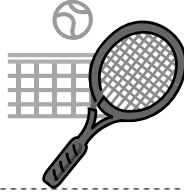
平成21年度限り閉講科目の貸出が出来ますのでご利用下さい。本部所蔵のため、本部からの貸出になります。

※自宅への貸出は出来ません。栃木学習センター内での視聴になります。

- ・貸出数：2科目（2セット）
- ・利用期間：1か月
- ・申込み方法：窓口で申込み用紙にご記入下さい。

栃木学習センターサークル紹介 Part2

現在栃木学習センターでは6つのサークルが活動しています。今号では、3つのサークルをご紹介します。共に学ぶ仲間とサークル活動を通して交流を持ってみませんか？

 <h3>ボウリング愛好会</h3> <p>よく学び、よく遊ぶ愛好会です。会員の条件は楽しい事が大好きな人です。ボウリングの開催日は学生控室のお知らせを参考にして下さい。また、来年も台湾旅行を計画しています。</p>	 <h3>足利氏研究同好会</h3> <p>我々の研究同好会は、室町幕府を開いた足利将軍家（15代）の当時の政治・経済・文化を自分たちの目と足で確認しながらその足跡と関連する業績を勉強する会です。現在までに足利学校、浄因寺、鶏足寺などの視察をしました。</p>
<p>活動日時：開催日は学生控室のお知らせを参考にしてください。</p> <p>人数：12名</p> <p>代表：上村隆行（全科履修生）</p> <p>連絡：栃木学習センター事務室あるいは、080-3574-6271 まで。</p>	<p>活動日時：不定期</p> <p>人数：2名</p> <p>代表：伊澤正隆（全科履修生）</p> <p>連絡先：栃木学習センター事務室あるいは、090-9108-6531 まで。</p>
 <h3>テニス練習会</h3> <p>健康のためのテニスです。技量・経験は問いません。初心者は遠慮なく挑戦してください。みんなで楽しく体を動かしましょう！</p> <p>※12月～3月までは活動を休止します。</p> <p>活動日時：毎月第2、3木曜日 17:00～18:30</p> <p>代表：柏瀬省五先生（栃木学習センター客員教員）</p> <p>場所：宇都宮大学陸上グラウンド南側 テニスコート</p> <p>連絡先：柏瀬先生のメールアドレス、kasiwase@pop16.odn.ne.jp までご連絡下さい。</p>	

学生からのメッセージ

ユニークな経歴をもつ藤本眞知子さんは放送大学に在籍して6年半になります。多忙なか、日々の時間を上手く使った勉強法は大いに参考になりそうです。このたび念願だった学位を取得し、10月からは選科履修生として学び続ける藤本さんにお話を伺いました。（この記事は2010年11月13日より栃木学習センターホームページに掲載されています。）



念願だった学位を取得して

藤本 眞知子 さん（教養学部）

「社会と産業コース」修了・2010年10月より選科履修生

一念発起して放送大学に入学

東京に生まれ育ち、文科省の認可を受けていない中学・高校に進学した私は、高校卒業と同時に父の転勤にともないロンドンで3年間暮らすことになりました。日本人が海外へ行くことがまだ珍しかった1960年代のことです。ロンドン市内の専門学校で英文秘書業務を学んだ後、日本に帰国。イギリス大使館での勤務、旅行系専門学校の講師を経て起業・独立し、都内で輸入品の婦人服飾雑貨を扱う店を営んでいます。

栃木県で暮らすようになったのは偶然でした。以前、仕事で大田原市を訪れた時にちょっとした縁があり、11年前に那須塩原市に引っ越しました。以来、東京にある仕事場へは新幹線通勤。忙しい毎日を送るなか、ある雑誌で放送大学のことを知りました。

いつか大学を卒業したい。そう思いつつも仕事や家庭を持つとなかなか踏み切れずにいたのですが、仕事が一段落しかけた頃に一念発起。まずは学習についていけるかを自分自身で判断するため、2004年に選科履修生となりました。また、私は特殊な中学・高校を卒業したので、全科履修生の入学資格を得るため、放送大学の特例措置を希望することにしました。そして2年間で入学条件となる16単位を取得し、晴れて全科履修生となったのです。

自分なりに編み出した勉強法

放送大学で学ぶうちに、次第に自分に合った勉強法を見つけていきました。まずは時間の作り方。那須塩原～東京間の新幹線通勤は片道約1時間、往復で約2時間。これは教科書を集中して読むのにちょうどいい時間で、帰宅後、机に向かわなくても勉強することができました。

試験対策にも力を入れました。単位認定試験1ヶ月前になるとスケジュール表を作成して勉強中心の生活とし、受験科目を繰り返し復習できるよう計画しました。

試験問題の「予想」も有効でした。こういう問題が出題されるのでは……と自分なりにイメージしながら勉強すると、頭が整理されるのです。特に出題

形式が「記述式」の場合は、予想した試験問題と解答をあらかじめノートにまとめておき、試験開始直前まで目を通していました。さらに試験に印刷教材等の持込が認められている科目の場合は、そのノートを持って試験に臨みました。見事、試験問題を当てたこともありましたが、そうでなくても勉強が大いに役立ちました。

年齢を重ねての勉強は面白い

全科履修生となって4年半。目標より半年遅れましたが「社会と産業」コースを修了し、学位を取得しました。会社経営をしながら念願だった大学卒業に至ったことは、私の人生でこれ以上ないほどの喜びです。

年齢を重ねてからの勉強はいいものですね。若い時には分からなかったであろう面白さがある。ある一定のところを歩いてくると自分の興味が固まってきましたから、その興味を深めるために何をすればいいのか、あと何が足りないのか、それらを理解したうえで学べますから。「年の功」という強みもあります。改めて勉強したつもりはないけれど、社会で生きている間に知らずうちに蓄積されている知識があって、それらが授業の助けにもなります。

放送大学に在籍して6年半。勉強することが習慣になりましたので、この10月からは再び選科履修生となり、語学を学んでいます。今回登録したのは2科目。1つは今学期に開講した『Political Economy of Japan ('10)』。印刷・放送教材ともに全編英語で制作され、通信指導と単位認定試験の出題も英語で行われるという徹底した内容ですが、今まで勉強してきたことの総仕上げとの思いで学んでいます。もう1つは『韓国語入門Ⅰ ('06)』。毎日欠かさず韓国ドラマを見るほどのファンで、韓国語そのものにも興味がありますから。

これからも放送大学で学び続けたい。全科履修生として再入学するのもいいですね。今までのように卒業にとらわれず、興味のある科目をゆっくりと長いスパンで勉強していくのもいいと思っています。

（談）

栃木学習センターニュース

宇都宮市主催、大学生によるまちづくり提案発表会 2010 にて
栃木学習センターまちづくり研究会が第1位に選ばれました！！



初出場で第1位の快挙！

【写真左】表彰式後、指導教員を務めた陣内雄次先生と喜びを分かち合う「まちづくり研究会」のメンバー。写真左より奥村光央さん(大学院)、上村隆行さん(教養学部)、陣内雄次先生(客員教員)、大島秀代さん(大学院)、根本進一さん(教養学部)

12月17日(金)、「大学生によるまちづくり提案発表会(宇都宮市主催)」が同市役所にて開催され、栃木学習センター学生有志による「まちづくり研究会」が、初出場ながら見事、第1位に選ばれました。同発表会は、宇都宮市が学生の意見を市政に生かそうと毎年開いているもので、6回目。宇都宮大学、宇都宮共和大学、作新学院大学、帝京大学、放送大学から12団体が出場し、パネルやプロジェクターを使いながらユニークな提案を披露しました。

平均年齢60歳超のメンバーによる栃木学習センター「まちづくり研究会」は、『オリオン通りにシニア・ビジネスの可能性を探る(超高齢化社会に向けての愉快的まちづくり提案)』と題し、高齢者を起爆剤にした中心市街地の活性化を提案しました。発表終了後、審査員から「放送大学の提案は人生経験がにじみ出る内容。出色だった」との講評があり、授賞式では会場からメンバー全員に温かい拍手が贈られました。

栃木学習センターのまなぴーができました！



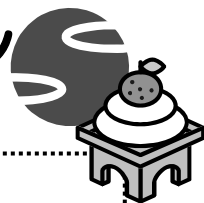
放送大学のイメージキャラクター「まなぴー」に全国のご当地まなぴーが登場しました！

栃木学習センターのまなぴーは栃木名産のいちごに乗った可愛いデザインです。今後、とちの実の紙面やセンター掲示等に登場しますので、どうぞよろしくお願ひします！

*放送大学イメージキャラクターまなぴーとは？

まなぴーは「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージし、2008年に誕生しました！

キャンパススケジュール



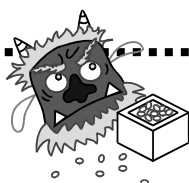
1月

■は閉所日です。

日	月	火	水	木	金	土
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 図書・放送教材貸出停止期間
大学院生 1/7 (金) ~ 1/22 (土)
学部生 1/9 (日) ~ 1/30 (日)
- 大学入試センター試験のため自動車での入構禁止
1/15 (土) ~ 1/16 (日)
- 第2学期単位認定試験
大学院 1/21 (金) ~ 1/22 (土)
教養学部 1/23 (日) ~ 1/30 (日)
期間中の閉所日：24日 (月), 28日 (金)

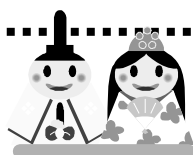
2月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

- 2/1 (火) 臨時閉所日【単位認定試験後の為】
- 2/20 (日) 栃木学習センター公開講座
「縮退社会における町づくりを考える
— 事例からの検証 —」
- 平成23年度第1学期科目登録申請期間
郵送での申請 2/8 (火) ~ 3/1 (火)
Webでの申請 2/8 (火) 9時 ~ 3/3 (木) 18時
- 2/25 (金) 宇都宮大学個別学力検査のため自動車での入構禁止
- 平成23年度第1学期入学生募集締め切り
2/28 (月)
- 5・6日 面接授業「フランス料理と食文化の歴史」
26・27日 教員免許更新講習修了認定試験

3月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19

- 平成23年度第1学期科目登録申請締切
郵送での申請締切 3/1 (火)
Webでの申請締切 3/3 (木) 18時
- 3/26 (土) 平成22年度放送大学学位記授与式
(於：東京NHKホール)
- 3/27 (日) 平成22年度第2学期学位記授与式、
平成23年度第1学期入学者の集い (於：栃木学習センター2階 大講義室)

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。本年も職員一同学生の皆様のサポートに尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

いよいよ単位認定試験が近付いてきました。体調を整え、日頃の学習の成果を発揮してください！（藤）

放送大学栃木学習センター

〒321-0943

宇都宮市峰町 350 (宇都宮大学構内)

T E L 028-632-0572

F A X 028-632-0570

E - m a i l tochigi-sc@ouj.ac.jp

Homepage

<http://tochigi.sc.ouj.ac.jp/>

*「とちの実 第76号」は1月現在で栃木学習センターに在籍のある学生にお届けしています。
次回の発行は3月の予定です。